

## 高度なコンテンツクリッピングによる知識共有サービス\*

4V-3

大友 健治, 佐藤 宏之, 増尾 剛†

NTT 情報流通プラットフォーム研究所‡

## 1 はじめに

ネットワーク及び情報機器の普及により膨大な量のコンテンツがオンライン上に蓄積され利用されるようになった。個人レベルの広帯域でのネットワーク常時接続環境の整備は個人による情報発信をより容易なものとし、コンテンツの増加はその勢いを加速している。溢れた情報、コンテンツを如何に有効に活用するかが問題となってきている。コンテンツの活用に関する個人の知識をメタ情報として表現し、必要に応じて動的に取得可能とする知識共有サービスのコンセプトを紹介する。

## 2 コンテンツを有効に活用するためのメタ情報

コンテンツに対し作者や作成日、キーワードやレイティング情報といったメタ情報を付加することにより検索の効率化、フィルタリング、関連コンテンツへのナビゲーションを可能にしようとする試みが行われている[2],[3],[4],[5]。これらメタ情報は小数の権威者により記述すべき内容が規定され情報の登録に大きな稼働を必要としている。我々もコンテンツを有効に活用するには単独のコンテンツのみでは不十分であり関連するコンテンツとの関係において把握されるべきだという観点から、コンテンツに関わる背景情報をコンテンツ間関係として記述するコンテキストというメタ情報を提案している[1]。コンテキストでは不特定多数のユーザによりコンテンツの利用の場面に応じたメタ情報が記述される。ユーザが登録という稼働を意識することなく他者のメタデータであるコンテキストを利用できるコンテンツクリッピングによる知識共有サービスを提案する。

## 3 コンテンツクリッピングによる知識共有サービス

## 3.1 コンテンツクリッピング

コンテキストを扱うアプリケーションとして注目したのが現在 Web ページのブラウジングにおいて情報の整理し保存しておくのに利用されているブックマークである。我々の提案するコンテンツクリッピングはこのブックマークの機能を拡張したものである。通常ブックマークでは情報を整理するためのディレクトリを作成しその配下に URI を保存しておくだけ、もしくは保存した URI に対して簡単なコメントを残す程度である。我々の提案するコンテンツクリッピングは更に保存した URI 間の関係も記述できるのが特徴となる。あるテーマに沿って保存したコンテンツ (URI) を読み返すときのその順序を記述したり、あるコンテンツに対しあるコンテンツは対立した内容を持っているといったことを記述することが可能となり高度な情報の整理を行うことができる。

コンテンツクリッピングにおいてブックマークと同様のユーザインタフェースを想定したのはその入力の手軽さである。メタ情報を扱う際の問題の一つとして入力の手軽さの大きさがあがる。ブックマークと同様のユーザインタフェースとすることでブックマークというユーザの日常的な活動からコンテンツ活用のためのメタ情報、コンテキストを獲得することができる。

## 3.2 コンテキストの共有

個人の情報整理のために行うコンテンツクリッピングであるが、コンテンツクリッピングにより得られるコンテキストを共有することにより他者によるコンテンツの

\* A Knowledge Sharing Service by Hyper Clipping Contents

† Kenji Otomo, Hiroyuki Sato, Tsuyoshi Masuo

‡ NTT Information Sharing Platform Laboratories

利用の仕方、分類、意見、関連するコンテンツといったものを知ることができコンテンツを有効に活用することができる。共有のための流通機構としてアプリケーションがサーバとクライアントの機能を同時に行うP2Pのプロトコルを用いる。ある特定のサーバに対する登録という作業を必要とせず、動的に必要なコンテキストを取得することができる。我々の提案するコンテンツクリッピングによる知識共有サービスの概念図を図.1に示す。

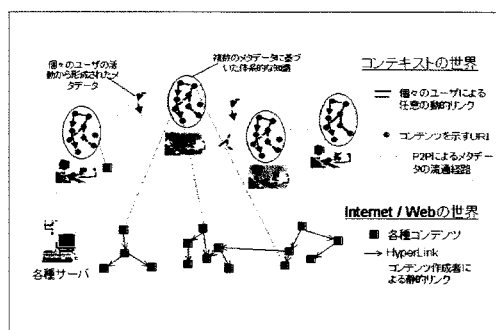


図 1 サービスの概念図

### 3.3 類似サービスとの比較

現在提供されている類似のサービスにブックマーク共有サービスがある[6],[7]。コンテンツクリッピングによる知識共有サービスとこれらブックマーク共有サービスの比較を表.1に示す。ブックマーク共有サービスがコンテンツの分類に関する情報しか共有しないのに対しコンテンツクリッピングによる知識共有サービスではコンテンツの分類も含んだより多くの情報を持つコンテキストを共有することができる。また流通方式としてP2P方式をとることにより、サーバ集中管理方式のようにサーバがダウンするとサービスすべてがダウンしてしまうということがなく障害に対して堅牢なサービスとすることができる。

表 1 類似サービスとの比較

	扱う情報	流通方式
コンテンツクリッピングによる知識共有サービス	コンテキスト	P2P方式
ブックマーク共有サービス	コンテンツの分類	サーバ集中管理方式

### 4 おわりに

コンテンツの活用に関する個人の知識であるコンテキストを動的に取得可能とするコンテンツクリッピングによる知識共有サービスを提案した。今後具体的なアプリケーションの実装を行い評価を行う予定である。

### 5 参考文献

- [1] 佐藤 神戸 小村, コミュニティにおける知的創造活動を支援する知識流通方式, 情報処理学会第 61 回全国大会, 2000 年
- [2] Semantic Web <http://www.w3.org/2001/sw/>
- [3] Platform for Internet Content Selection(PICS) <http://www.w3.org/PICS/>
- [4] Dublin Core <http://dublincore.org/>
- [5] Topic Maps (ISO/IEC 13250) <http://www.y12.doe.gov/sgml/sc34/document/0129.pdf>
- [6] Blink <http://www.blink.co.jp/>
- [7] ShareStage by NTT Communications <http://www.sharestage.com/>